

みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり

発行
北九州市社会福祉協議会

- 2・3 | みなさんも、市民後見人になりませんか？
- 4・5 | ボランティア大学校ひと&ひと
- 6 | あなたのまちの校(地)区社協<八幡西区鳴水校区>
- 7 | 企業の社会貢献<不動産中央情報センター>、社会福祉施設×地域が取り組む「ふくしのまちづくり」
- 8 | 寄付／講座・イベント



表紙イラスト

障害福祉サービス多機能型事業所 インクル八千代の利用者さん 作

インクル八千代は障害のある人の、それぞれのニーズに合わせた支援をしている施設なんだ！利用者さんは鳴水校区社会福祉協議会の会議資料やチラシなどにも挿絵を描いてくれて、地域活動を一緒に盛り上げているんだよー！

6ページにはインクル八千代のある鳴水校区の取り組みを紹介しているよ！みんな、見てねー！！

プチボザウルス



地域福祉の
新たな担い手!



みなさんも、市民後



～第10期市民後見人

近年、認知症や知的・精神障害等によって判断能力が不十分になり、本人だけでは契約や財産の管理が難しい方の権利を守り、自分らしく安心して暮らせるように支援する成年後見制度の普及が進んでいます。それに伴い、地域福祉の新たな担い手として期待されているのが、本人に寄り添い支援する市民後見人です!

市民後見人とは、「社会貢献型市民後見人養成講座」を修了し候補者名簿に登録した市民のうち、成年後見人等として家庭裁判所から選任された人のことをいいます。北九州市では、平成19年度から市民後見人の養成講座を行っており、これまでに第1期生から第9期生までの計133人が全課程を修了しています。

市民後見人の活動は主に下記の3つで、身近な立場から本人の生活に寄り添った支援をされています。

預貯金・不動産等の財産の適切な管理

福祉サービス契約等の日常生活の支援

活動状況の家庭裁判所への報告

北九州市社会福祉協議会権利擁護・市民後見センター「らいと」(以下、「らいと」)では、マニュアルの策定や定期面談等を通して、市民後見人が安心して活動できるようサポートしています。興味のある方はまず、ぜひ下記の「公開講座」にご参加ください。

公開講座「市民が支える成年後見制度」



実施日時 令和3年10月24日(日) 13:30～16:00
実施会場 ウェルとばた3階 中ホール (およびオンライン配信)
定員 100名
受講料 無料
内容 第一部 …… 基調講演
「市民が支える成年後見制度 ～地域で寄り添いともに歩む～」
講師 弁護士 河原一雅
第二部 …… 活動事例発表・まとめ
権利擁護・市民後見センター 支援員
第三部 …… 養成講座募集説明・オリエンテーション
対象 どなたでも
申込方法 はがきまたはFAXに住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記へお申込みいただくか、下記のQRコードまたは「らいと」ホームページからお申込みください。
権利擁護・市民後見センター 「らいと」
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた3階
Tel: 093-882-4914 FAX: 093-882-2266
締め切り 10月14日(木) ※はがぎの場合は、当日消印有効

【養成講座の流れ(予定)】

養成講座募集説明・オリエンテーション

公開講座:令和3年10月24日(日)

1次選考(申込書・作文による)

申込期限:令和3年11月10日(水)

1次選考結果発表・2次選考案内

発送予定:令和3年11月下旬頃

2次選考(面接による)

面接日:令和3年12月中旬頃

最終選考結果発表・養成講座受講案内

発送予定:令和3年12月下旬頃

社会貢献型市民後見人養成講座(基礎編)

令和4年1月15日(土)～3月12日(土)

社会貢献型市民後見人養成講座(実務編)

令和4年7月下旬から10月下旬



受講申込
QRコード

ホームページは

権利擁護らいと
で検索



【養成講座カリキュラムの概要(予定)】

基礎編(5日間)

令和4年
1月15日～3月12日
※隔週土曜日
9:00～16:30

- ・地域福祉・権利擁護の理念
- ・成年後見制度/基本的な視点と法の理念
- ・高齢者・障害者の理解と対応
- ・介護保険制度・生活保護制度の理解
- ・年金と医療保険制度の概要
- ・民法の基礎/家族法・財産法

実務編(9日間)

令和4年
7月下旬～10月下旬
※隔週土曜日
9:00～16:30
※うち2日は施設実習・
1日は同行演習

- ・成年後見人としての実務
- ・医療・福祉サービスや施設の理解
- ・家庭裁判所の役割と実際
- ・対人援助の基礎/援助の実際・記録とは
- ・対人援助の基礎/コミュニケーション・家族の捉え方
- ・演習/事例検討・グループワーク

見人になりませんか？

養成講座受講者募集～



安永 晴美 さん

いつもおしとやかな安永さん。取材は苦手とおっしゃいますが、「私の話が役に立つのなら。」とお話をしてくださいました。

“市民目線”で寄り添い支援する

～地域福祉の新たな担い手！市民後見人とは？～

今回は、“市民目線”で寄り添い支援する市民後見人の実態に迫るべく、県内2人目の市民後見人として活躍されている安永さんにお話をお聴きしました。

地域の役に立ちたい

Q 養成講座を受講したきっかけを教えてください。

A 私は退職まで仕事だけを考えてきたので、退職後はお世話になった地域のために活動したいと考えていました。しかし何ができるかわからず悩んでいた時、市政だよりの「第2期市民後見人養成講座」の募集記事がふと目に留まりました。法律は詳しくなく成年後見制度もあまり知りませんが、「地域の役に立てるのなら」と思い応募してみました。

市民後見人に選ばれて

Q 市民後見人に選任されたときはどんな気持ちでしたか？

A 養成講座の修了後は「らいと」の支援員として活動する中で色々な経験をして、多くの知識を身につけました。そして支援員の引退後に市民後見人に選任されたのですが、選任当初は市民後見人として活動できるのかとても不安でした。しかし実際に選任されてみると、わからないことはすぐに「らいと」に相談でき、市民後見人の先輩もいたので安心して活動できています。まあ、市民後見人の候補者名簿に登録した時からある程度は覚悟していたこともありますけどね(笑)。

限られた時間で本人を知る

Q 日頃はどのような活動をされていますか？

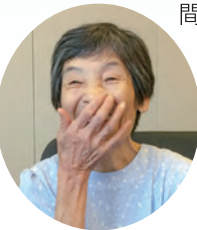
A 実は、新型コロナウイルス感染症の影響や本人に特段変化が無いことから、まだ市民後見人の仕事としては定期訪問や家庭裁判所への報告しかできていません。本人は障害があり施設に入所されている60代の方なのですが、親族との関わりが薄いためなるべく私が毎月訪問したいと考えています。しかしコロナ禍で施設の面会時間が15分と限られているので、その限られた時間の中で「どうしたらより多く本人の事を知ることができるか」

を常に考え工夫しています。

例えば本人は穏やかで小声で話すタイプのため、発言が理解しづらいこともあります。しかし「わからない」と言ったり、もう1度聞き返したりすると「この人には話したくない。」と感じることもあると思うので、本人が一生懸命話そうとしてくれているときは「理解しているよ、わかっているよ」という気持ちを伝えて、安心して話してもらうようにしています。



今後の活動について専門員と確認する安永さん



心温まる瞬間

Q 活動をしていて印象的だったことはありますか？

A 初対面の時はあまり話はしてもらえませんでした。訪問を重ねるうちに話しかけると答えてもらえるようになりました。そんな中、ある日面会に行くとニコッと笑って「外には花が咲いている？」と、私が話しかけるより先に本人から話しかけてくれました。その時はとても驚いて、私が行くのを待っていて何を聞こうか準備してくれていたのかと思うとても嬉しくて、訪問して本当によかったと思いました。私の本人を理解したい気持ちが伝わっていた気がしましたし、本人も私と話をしたいと思ってくれていると感じました。

利用者本人のため日々模索

Q これからどのように利用者本人を支援していきたいですか？

A 本人ができるだけいい環境で暮らせるように本人の要望を施設に伝える等、少しでも力になりたいと思います。まだ信頼関係を深める段階のため、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、本人とたくさん話をして何が好きか嫌い、何ができてどんなことで困るのかなど、本人の理解を更に深めていきたいと思います。

また法人後見人や専門職後見人ではなく、市民後見人だからこそ出来ることは必ずあります。今はそれを模索中ですが、本人に寄り添いよく知ることでよりきめ細かな支援ができると思うので、これからも本人のため、そして地域のために考えながら活動したいと思います。

傾聴ボランティア・フォローアップ研修レポート

4月22日に、「傾聴ボランティア・フォローアップ研修」を開催しました。密を避け、受付時の検温・消毒、マスク着用、スタッフのフェイスシールド着用等、感染予防対策を徹底しての開催です。

今回の研修は、コロナ禍で1年以上の間、活動が休止している傾聴ボランティアグループの方々を対象に開催しました。研修の前半は、withコロナ時代のコミュニケーションツールの活用として、「スマホでご挨拶!～ZOOM初体験～」の講義とワークショップを行いました。後半は「施設のボランティア受入の現状と今後について」をテーマとして、ボランティアの受入先である高齢者福祉施設の北九州シティホーム曾我施設長にお話を伺いました。

ZOOM初体験のワークショップでは、参加者のスマートフォンやパソコンを使って、皆さんが画面を通じてつながることができ、「ZOOMの仕組みを知ることができてよかった。今だからこそ、使うことができれば良いと思った。」「もう一度家で見直して活用したい。」「思っていたより、できるかも、と思った。」とのお声をいただきました。

施設のボランティア受入の現状と今後についての講義では、「施設の現状を知ることができて良かった。コロナの状況が好転したならば、また、是非ボランティア活動を再開したい。」「施設の内情を知れて、ボランティアの大切さを再認識した。」などのお声をいただきました。

今後も、講座毎に受講者のニーズを適確に捉え、実践に結びつく研修を開催していきます。



スマホでご挨拶! コミュニケーション



北九州シティホーム 曾我施設長 講義風景

受講生 募集

視覚に障害のある人へのボランティア入門講座

障害のある方の困り事に気づき、思いやりの心を声かけや行動にしてみたい。

ボランティアで困り事を少しでも解消できるの?

本講座では、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指して、障害のある方の心に寄り添い、支援について学ぶとともに、ボランティア活動に関心のある方には活動の窓口へつなげます。

- 開催日時 9月11日(土) 10:00～12:00 (9:30～受付)
- 会場 ウェルとばた12階 H・I研修室 (戸畑区汐井町1番6号)
- 対象 障害がある方へのボランティア活動に関心のある方
- 受講料 700円
- 定員 30名
※申込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
- 申込方法 電話またはGoogleフォームでお申込ください
- 申込締切 8月20日(金) 必着

※新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大等今後の状況によっては本講座を延期する場合がございます。その際はご了承ください。

↓ 受講申込
↓ QRコード





シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」③4

住民の語り合いと 習慣化で作る防災

防災ファシリテーター

ふるのよういち
古野 陽一 さん



●つばやきから始まった地域防災

「まち協の防災訓練、畠田からは4人だけやった。」

2016年1月、自治会長が困ったようにつぶやいた。私が類似公民館長を務める若松区畠田は、土砂災害危険区域を抱えているが、防災意識は必ずしも高くはなかった。自治会で防災事業実行委員会を立ち上げ、畠田独自の防災訓練を入れた新年度事業計画を総会に諮ろうとしていた4月、熊本大地震が発生した。連日の報道に住民の意識は防災に向かい、5月に防災について語り合うカフェを開いた。10月に危機管理室を招いてDIG(災害図上訓練)を行い、翌週には防災訓練を実施した。100名を超える住民が参加した。

●語り合いで作る地域防災

2017年、実行委員各々が防災の学習をはじめ、私にも北九州市の防災事業「みんなde Bousaiまちづくり事業」のファシリテーターのお誘いがきた。一も二もなく参加し、地域住民の語り合いで防災を形作る手法を学んだ。畠田の防災にも取り入れ、5月に市民防災会議、6月下旬に防災訓練を行い200名以上が参加した。その直後の7月5日に九州北部

豪雨災害が発生し、7日未明には北九州市を豪雨が襲い、畠田でも浸水や崖崩れの被害が起きた。7月の振り返り会議には50名を超える住民が集まり、災害への備えを語り合った。その中から、数世帯のグループを単位とした連絡網と助け合いの「畠田緊急ネットワーク」が出来上がった。

●防災は長期戦～習慣化が対抗策

災害はいつ起きるかわからない。防災は数十年単位の長期戦だ。災害への危機意識だけでは戦えない。対抗策は自治会での習慣化しかないと話し合われた。年明けからネットワークの見直しを始め、組単位の常会で近況を報告し合うようになった。春には新年度版ネットワークが完成し、防災訓練を行い、振り返りで語り合う。毎年これを繰り返す。コロナ禍で様々な行事が中止になる中でも、グループ単位の各戸訪問でネットワークは更新された。防災訓練は情報伝達訓練だけになったが9割以上の世帯が参加した。

「今年の計画は?」という問いかけに「徹底して慣れるまでやるのが訓練」と実行委員が口々に言うのがうれしかった。

受講生
募集

ボランティアコーディネート研修

【ボランティアとのかかわり方を学ぼう!!

～いま求められるボランティアコーディネーションとは～】

地域やさまざまな施設などでボランティアさんが活躍しています。『どうやってボランティアを受入れたらいいの?』『受入れ側の心構えって?』そんな疑問をお持ちの方にぴったりの講座を開催します。ボランティアさんのやさしい心と心、人と人をつなぐより良いコーディネートについて、みんなで一緒に学びませんか?

- 開催日時 8月20日(金) 13:00～15:30
- 会場 ウェルとばた12階 H・I研修室(戸畑区汐井町1番6号)
- 受講対象 社会福祉施設や病院、市民センター、校(地)区社会福祉協議会活動等において、ボランティアコーディネーション(ボランティア受入等)を担う方
- 定員 30名(応募者多数の場合は抽選となります)
- 受講料 700円
- 申込方法 FAX・郵送・電話、またはGoogleフォームでお申込みください。
- 申込締切 8月6日(金) 必着

↓ 受講申込
QRコード



※ 新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大等、今後の状況によっては本研修をオンライン(Zoom)開催や延期する場合がございます。その際はご了承ください。

鳴水ワンチーム! 施設とタッグを組んだ地域活動

このページのイラストは
インクル八千代の利用者さんが
描いてくれました。



八幡西区 鳴水校区社会福祉協議会

【校(地)区社協の概要】

設立: 平成13年
人口: 5,706人
世帯数: 2,986世帯
高齢化率: 30.1%
活動拠点: 鳴水市民センター

鳴水校区社協 **検索**

会長: 竹山 公子氏
福祉協力員: 40人
ニーズ対応員: 40人
民生委員・児童委員: 8人

黒崎商店街の南の山手に広がる住宅街に位置する校区です。「～子どもから年長者まで～ふれあいのある街づくり」をスローガンに活動しています。

サロンから始まった「つながり」

障害福祉サービス多機能型事業所インクル八千代(以下、インクル)では、「(障害のある人と)地域をつなぐコミュニティの拠点」としてカフェを併設していましたが、カフェ以外でも、より地域と関わりたいと考えていました。

同じ頃、鳴水校区社協では新しいカタチのサロンを作りたいという話がありました。そこでいつも親子連れや高齢者でにぎわうインクルのカフェでサロンをやれば、世代や対象を問わず様々な方が集うサロンになるだろうと両方で話し合い、8年前から連携した活動を行ってきました。

インクルをサロンの会場にするだけでなく、施設職員がサロンの講師をしたり、利用者さんが一人暮らし高齢者の懇親会でよさこい踊りを披露したりするなど、様々な取り組みが広がっています。



▲サロン活動とよさこい踊り披露の様子(コロナ禍以前に撮影したもの)

✂ コロナ禍でもつながっています!

「コロナ禍でも協力してできること」として、インクルの利用者さんが描いた挿絵を社協のチラシや福祉協力員の名刺に使用するなど、社協活動の広報にも協力してもらっています。

また、校区の会議資料の表紙にも挿絵を使っており、活動者も毎回楽しみにしています。



▲インクル八千代の利用者さんが描いた挿絵入りの名刺とチラシ

✂ 声をかけあい、アイデアを出し合う

鳴水校区社協とインクルとのつながりは、活動者と歴代の事業所長から始まり、そのつながりが徐々に地域と施設へ広がり、スタッフが変わっても途切れることなく「お互いに声をかけ合う関係性」を続けてきました。

インクルの石原事業所長は「施設を地域のマンパワーの1つとして思ってもらえたら嬉しいです。」と話します。竹山会長と岩本福祉協力員も「インクルさんと一緒にやってみたくさんがたくさんあります!!」と今後の活動についての話にも花が咲きます。

今年からインクルのスタッフが変わり、新しいチームとなった鳴水校区では、今後も地域と施設がタッグを組んだユニークな活動が生まれそうです。



鳴水校区社協 岩本福祉協力員
インクル八千代 清水副所長
鳴水校区社協 石原事業所長
竹山会長

地域支援コーディネーターからひと言

担当の白石です



鳴水校区は子どもから高齢者まで幅広く交流している地域です。

校区社協主催のサロンでは、多彩な催しが行われ、地域の皆さんに楽しんでいただいています。

今後もふれあいとぬくもりあるまちづくりを、微力ながら支援していきたいと思ひます。

株式会社不動産中央情報センターは、【**私たちはお客さまと地域社会に役立つことを最大の喜びとします**】の創業理念のもと北九州の高齢化を見据え、昭和63年に全国に先がけて高齢者向けマンション（**ゆうゆう壱番館**）を開設しました。

1Fテナントルームを20名程度収容可能な小規模レンタルスペースとして開放し、講座やワークショップ、サークル活動にご利用いただいております。

コロナ禍の中でも、レンタルスペースは、英語塾、アート、研修、勉強会、自然食品や手作り小物の販売、足裏マッサージなど、幅広い用途に使われ、子育てママやアクティブシニア、学生さん、ダブルワークに興味がある社会人などに利用いただくことで“生きがいづくり”のお役に立てればと思います。

テニスコートは、日頃入館者様のウォーキングのほか、貸テニスコートとして地域の方にご利用いただいております。法人さま、ご家族、学生さんと多くの方がご利用され、テニスボールを打つ心地よい音、楽しい声が響き、入館者さまも時の経つのを忘れ、見学されております。



テニスコート=敷地内にあるテニスコートを地域に開放しています。



レンタルスペース=地域に向けて雑貨販売も可能なレンタルスペース。

社会福祉施設×地域が取り組む「ふくしのまちづくり」

「社会福祉施設と地域がつながる！ふくしのまちづくりヒント集」を作成しました！

本市では、種別社会福祉施設協議会(6団体)と本会が締結している「地域における公益的な取組の推進に関する協定」に基づき、地域の困りごとに寄り添ったさまざまな活動を行っています。

このたび、地域の社会福祉施設が校(地)区社協とつながるための「ふくしのまちづくりヒント集」を作成しました。

ヒント集では、買い物支援や子どもたちの体験学習などの事例を交えながら、施設と校(地)区社協がお互いの強みを生かした活動を行うためのポイントを紹介しています。ぜひご活用ください。



詳しい内容は
こちら⇒



老人クラブに入りませんか？



60代からのいきいきシニアライフ！
健康長寿をめざしましょう！

のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを



北九州市老人クラブ連合会

TEL 093(871)2910



北九州市で福祉会計ソフトの販売、
開発、コンサルティングから
操作・運用指導まで。

(株)勁草システック

代表取締役 藤井 章生

〒802-0971 北九州市小倉南区守恒本町1-4-12-201
TEL. 093-964-7778 FAX. 093-964-7776
<http://www.keisoh.co.jp/>

伝言板 講座・イベント情報

ご寄付ありがとうございました。

地域福祉振興のために活用させていただきます。(敬称略)

地域福祉活動 ▶ら・たんす小倉店 ▶株式会社九州支社(寄贈)
▶田中 光明 ▶(故)多田 憲一郎

子どもの居場所づくり ▶北九州小倉カフェ会 ▶(有)臼田産業
▶協栄電気(株) ▶松井 航太 ▶野中 博子

賛助会員へのご加入ありがとうございます

令和3年4月～5月にご加入いただいた方 (順不同・敬称略)

法人団体会員さま (福)援助会 (福)援助会 グループホーム聖ヨゼフの園
(福)援助会 養護老人ホーム聖ヨゼフの園
(福)援助会 特別養護老人ホーム聖ヨゼフの園
(福)まどか (福)孝徳会 (株)永瀬電業社

個人会員さま 斎藤 豊子 古田 洋子 佐藤 義則 和田 裕子

【お問合せ】総務部 総務課 ☎882-4401

ご寄付ありがとうございました

本年も、北九州地域労働者福祉協議会様、連合福岡北九州地域協議会様から、車両の贈呈をいただきました。贈呈いただいた車両は20台目となります。

例年、北九州メーデーの集会のなかで贈呈式が行われますが、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、北九州市役所庁舎内で5月19日(水)に贈呈式が行われました。

今回贈呈いただいた車両は、在宅高齢者の送迎を行う「シルバーひまわりサービス」で活用させていただきます。

「シルバーひまわりサービス」は、福祉有償運送として、ボランティアが在宅高齢者の通院や買い物などの外出を支援するもので、運転を担当する「運転ボランティア」と、道案内や乗降の補助等をする「同乗ボランティア」の2人1組で行われています。



ゴールドキーの授与



今回贈呈された「あんしん34号」小倉南区で活用されます。

ボランティア活動では、利用者の役に立つだけでなく、出会いや会話など、ボランティアをする側も得るものが多いです。ぜひボランティアとして力をお貸しください。詳細は市のボランティア・市民活動センター(881-0110)へ。

※送迎サービスは、新型コロナウイルスの感染状況によって、運休等になることがあります。

掲載の催しなどは、新型コロナウイルスの感染拡大の状況などによっては延期・中止となる場合があります。

周望学舎の短期講座

ワードで作品づくり

内容 / ワードの便利な機能を使って案内文やチラシなどを作成
実施日時 / 8月20日(金)～9月24日(金) (全6回)
開始9:50～終了15:00

参加費 / 12,000円(別途テキスト代が必要)

対象者 / 北九州市内在住の55歳以上の方

申込方法 / はがき・FAX・ホームページにて受付

周望学舎一日体験講座

内容 / 「筆文字アート講座 ～日頃伝えたい気持ちをアートと言霊にのせて～」
「日本のアイデンティティ ～神社を知る」

実施日時 / 9月11日(土) 開始9:30～終了15:00

参加費 / 無料

対象者 / 北九州市内在住の55歳以上で、年長者研修大学校に入学したことがない方

持参物 / 筆ペン 毛筆タイプ中字
周望学舎でも購入可能 1本 382円

申込方法 / はがき・FAX・ホームページにて受付

お問合せ / 周望学舎 ☎591-2626 FAX591-2629

65歳からできる 介護支援ボランティアをはじめませんか?

65歳以上の方が市内の介護保険施設で行うボランティア活動をポイント化し、換金や寄付をすることができる事業について説明します。ボランティアとして活動するためには、研修受講後に登録が必要です。まずは登録研修会にお申し込みください。

- 8月18日(水) 八幡西区役所(コムシティ) 6階 602会議室
- 9月9日(木) 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階 小セミナールーム
- 10月8日(金) 小倉南生涯学習センター 2階 特別会議室
- 10月27日(水) 若松中央市民センター 2階 会議室

時間 / 14:00～16:00

対象者 / 北九州市内在住の65歳以上の方

参加費 / 無料

持参物 / 介護保険被保険者証

お問合せ・お申込先 / ボランティア・市民活動センター☎881-6500

家庭常備薬の斡旋をご利用ください。

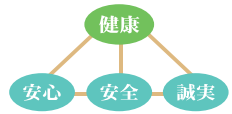
すべては「健康」のために・・・
私たちは誠意と熱意で応えます。

事業内容

医薬品、防疫薬、医薬部外品、化粧品、健康食品、健康関連用品
各種記念品の取り扱い。



お客さまのニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。



大日商事株式会社 TEL (06)6952-7015 FAX (06)6952-7137 大阪市東区大宮4丁目18番18号

見学・体験随時受付中! お待ちしております☆

就労継続支援B型利用者の方、募集中

(障害者分野)ご本人のペースで通所できる作業所です。

お仕事情形 時給表示(作業時間 10:00～12:00/13:00～17:00)

- ☆工場内造園作業 700円～ ☆洗濯(中古車販売店) 600円～
- ☆内職 400円 ☆草刈・草取(個人宅等) 600円～
- ☆ポスティング 500円～ ☆清掃 700円～

※作業以外にも、バスハイクなど楽しい活動があります※

社会福祉法人 共生の里 夢活動センター 苅田 (就労継続支援B型) 担当PSW: 飯田

【連絡先】093-383-0075 【携帯】080-3956-1871

※送迎無料。見学・体験のみも可能です。お気軽に問い合わせください。